

令和5年度

小学校国語科 授業づくり研修会



R5全国学力調査(知識及び技能)

番号	徳島	全国	比較
1ー	63.3	64.7	-1.4
1三(1)ア	49.7	52.8	-3.1
1三(1)ウ	72.0	72.6	-0.6
1三(2)イ	93.8	93.1	+0.7
1四	78.9	79.8	-0.9
2三	60.4	62.0	-1.6
3三	56.3	57.6	-1.3

学年別漢字配当に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。(意外)

送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。

R5 全国学力調査(思考力、判断、表現力等)

番号	徳島	全国	比較
1二	24.3	26.7	-2.4
2一	89.6	90.0	-0.4
2二	66.3	67.4	-1.1
2四	54.8	56.2	-1.4
3一(1)	73.7	73.6	+0.1
3一(2)	72.3	74.0	-1.7
3二	68.1	70.2	-2.1

図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。

目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。



国立教育政策研究所

National Institute for Educational Policy Research

全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた 学習指導の改善・充実に向けた説明会

令和5年度 小学校国語

結果の概要

- ◇話や文章の中心となる語や文を捉えることは比較的できている。
- ◆複数の情報を整理して自分の考えをまとめたり書き表し方を工夫したりすることに課題がある。

◇…比較的できている点 ◆…課題のある点



学習指導の改善・充実のポイント

- 単一の情報のみに基づくのではなく、複数の情報を比較したり、関連付けたりして検討すること
- 書くことにおいて、書き表し方を工夫すること
読むことにおいて、自分の考えをまとめること

これらのことが必要となる学習課題や学習活動の設定、一人一人のつまずきに応じた指導が大切である。

調査結果のポイント〔知識及び技能〕主な特徴と指導改善のポイント

(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項

◇送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことはできている。〔1三(2)〕

◇文章の種類とその特徴について理解することはできている。〔1四〕

◆日常よく使われる敬語を理解することに引き続き課題がある。〔3三〕



①

日常よく使われる敬語を理解し
使い慣れる指導の充実

(2) 情報の扱い方に関する事項

◆原因と結果など情報と情報との関係について理解することに課題がある。〔1一〕

◆情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことに課題がある。〔2三〕



②

情報と情報との関係付けの仕方、
図などによる語句と語句との関係の
表し方を理解し使う指導の充実

◇…比較的できている点 ◆…課題のある点

調査結果のポイント〔思考力、判断力、表現力等〕主な特徴と指導改善のポイント

A 話すこと・聞くこと

◇必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることはできている。〔3一(1)、(2)〕

◆目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることに課題がある。〔3二〕

③

目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる指導の充実

B 書くこと

◆図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。〔1二〕

④

図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する指導の充実

C 読むこと

◇目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約したものを選択することはできている。〔2一〕

◆目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることに引き続き課題がある。〔2二〕

◆文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることに課題がある。〔2四〕

⑤

文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる指導の充実

◇…比較的できている点 ◆…課題のある点

同音異義語

活用場面との関連

- ・ 対象……対照、対象 **徳島36.8%** **全国42.1%**
- ・ 関心……感心 **徳島31.9%** **全国35.8%**
- ・ 限らず **徳島66.8%** **全国69.5%**

令和5年の全国学力・学習状況調査においては・・・

- ・ 意外……以外 **徳島49.7%** **全国52.8%**

意図的に同音異義語に出会う、意識する機会をつくる

子供たちが間違えやすい、「以外」と「意外」について、考える機会をつくらう。

雑草取りを続けたのですが、
いがい雑草が生えてきて、とても
こまりました。

例

「意外」

- ・問題は意外と簡単だった。
- ・意外な展開に、おどろきをかくせな
かった。

「以外」

- ・あまりにつかれて、寝ること以外は
何もできなかった。
- ・私以外は、明日の予定を知っていた。

「以外」と「意外」どちらだろう？

文脈から考えると、「思ってもいなかった」ということだから、「意外」が正しいのだと思うわ。

授業改善のポイント

- ▷ 文脈に沿って、正しい漢字を書くことができるようにする
 - 新出漢字を繰り返し練習するにとどまらず、自分が書いた文章を見直す学習の中で、文脈に沿った正しい使い方を習得するようにする
 - 各学年の発達段階に応じた指導を工夫するようにする
 - ・ 特に高学年では、熟語などの語句の使用が増加する時期でもあり漢字のもつ意味を考えながら正しく使ったり、同音異義語を注意して使ったりする習慣を付けるようにする



▷ 実際に使う場面（文章の中）で

正しく使うことを繰り返す

② 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う指導の充実

調査問題と調査結果

4	3	2	1
自分にとって重要な言葉を四角や丸で囲み、 運動と栄養素の働き との関係を線でつないで整理している。	自分にとって分からない言葉を四角丸で囲み、 食品と栄養素の働き との関係を線でつないで整理している。	自分にとって重要な言葉を四角や丸で囲み、 食品と栄養素の働き との関係を線でつないで整理している。	自分にとって分からない言葉を四角や丸で囲み、 運動と栄養素の働き との関係を線でつないで整理している。
正答率 62.2%	徳島県 正答率 60.4%	反応率 29.6%	反応率 3.3%

【資料3】

相田さんが書きこみをしたパンフレットのページ

栄養素の働き

規則正しく食事をとることにより、脳が活発に働いたり、元気に運動したりすることができます。ただし、同じものや好きなものばかり食べていると、栄養がたまってしまい、つかれやすくなったりいらいらしたりします。

食品は、栄養素の主な働きによって、下のよう、主に三つのグループに分けることができます。

米やパンなどは、主に**エネルギー**のもとになります。肉や卵などは、主に**体をつくる**のもとになります。**魚肉**が**ついたり**、けがが治りやすくなったりします。野菜や果物などは、主に**体の調子を整える**のもとになり、**病気がかりにくく**なります。

〈栄養素の主な働きと食品の例〉

主にエネルギーのもとになる



主に体をつくるのもとになる



主に体の調子を整えるのもとになる



米、パン、バターなど

肉、卵、牛乳など

野菜、果物など

三 相田さんは、食事の面から健康について考えている友達の話聞いて、「資料3」に興味をもちました。次は、相田さんが、四角や丸で囲んだり線でつないだりして整理している【資料3】です。相田さんは、何をどのように整理していますか。その説明として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【解答類型2】

語句と語句を線でつなぐなどの表し方は理解していても、語句の意味や、語句と語句との関係を理解していない児童がいたと考えられます。

④

図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する指導の充実

(正答例)

グラフから分かるように、
学校の田んぼでは雑草が増え続けていたため、
雑草に栄養をとられてしゅうかくが減ってしまうかもしれないという問題点がありました。そこで、
雑草取りの回数と人数を増やすことにしました。
 (100字)

正答率
26.8%

徳島県
正答率
24.3%

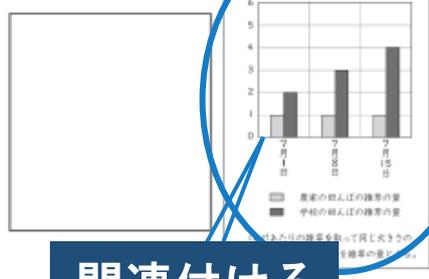
調査問題と調査結果

〇〇 (条件)
 〇 学校の米作りの問題点については、【川村さんの文章】のグラフ(農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量)と【カード④】のそれぞれから分かることを書くこと。
 〇 問題点の解決方法については【カード⑤】をもとにして書くこと。
 〇 六十字以上、百字以内にとめて書くこと。

【川村さんの文章】の一部

学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法
 今年の米作りでは、たくさんのお米をしょうかくすることができました。しょうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題を説明します。

7月10日、学校の田んぼで雑草取りを行いました。終わりで、週に1回は雑草取りを続けていたのですが、アブコギリが少なくなりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼと学校の田んぼと比べてみました。つきからは7月10日から15日までです。



学校の田んぼは雑草が増え続けている。

関連付ける

【カード④】
 7月20日
 [農家の石山さんのお話]
 ・雑草に栄養をとられると、米のしゅうかくが減る。
 ・雑草が多いと、いねが病気になることがある。
 ・農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしている。

【カード⑤】
 7月21日
 [学校でできる解決方法]
 ・雑草取りの回数を増やす。
 ・雑草取りの人数を増やす。

二 川村さんは、選んだカードをもとに、次の【川村さんの文章】の□に学校の米作りの問題点とその解決方法について書くようとしています。あなたが川村さんなら、□に入る内容をどのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

○演習 1

次の解答はどこが間違っていますか。メモをしてみましよう。

児童の反応を分析することが、学習指導の改善・充実の鍵となります。

（解答類型 1）

農家の田んぼに比べて、学校の田んぼの雑草は多く、しかも増え続けるという問題点がありました。そこで、雑草取りの回数を増やしたり人数を増やしたりすることにしました。

（解答類型 2）

学校の米作りの問題点は、雑草に栄養をとられて米のしゅうかくが減ってしまうことでした。そこで、雑草取りの回数も人数も増やすことにしました。

（解答類型 3）

グラフから分かるように、農家も雑草が生えています。このままだと雑草に栄養をとられて米のしゅうかくが減るかもしれないという問題点がありました。そこで、雑草を取る回数と人数を増やしました。

協力して課題を解決する機会をつくる

(解答類型 4) グラフから分かるように、学校の田んぼの雑草の量は二週間で倍に増えています。農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしています。そこで、雑草取りの回数や人数を増やしました。



何が足りないのだろう？



問題点と解決方法を書けているように思うわ。

雑草に栄養がとられると、米のしゅうかくがへることを書いていないね。



先生



これが、正解ね！

協力して課題を解決する機会をつくる

(解答類型 4) グラフから分かるように、学校の田んぼの雑草の量は二週間で倍に増えています。農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしています。そこで、雑草取りの回数や人数を増やしました。



何が足りないのだろう？



問題点と解決方法を書けているように思うわ。

学校の田んぼの雑草の量は二週間で倍に増えている」は、事実であるけれども、どこが問題点なのかわからないね。カード④にはどのような内容が書いてあったかな。



先生



カード④には、雑草が増えると、起こる問題点「栄養がとられてしゅうかくが減る」と「いねが病気になる」が書いてあったわ。この情報と雑草が増えることを関連付けるといいのだと思うわ。

「令和5年度【小学校国語】報告書授業アイディア例」より
目的に応じて必要な情報を見付けたり、情報に関係付けて整理したりして、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる
17

【石崎さんが書いた文章】

運動は、体力の向上につながります。そのため、子供からお年寄りまで、適度に運動することが大切だと言われています。

生活の中に自分が好きな運動を取り入れれば、続けて取り組むことができず。その際は、目的に応じて、健康状態や体力に合わせることも、自分のペースで行うことが大切です。

中略

大事な言葉を見付けて整理してみました。「運動」を赤で囲んでみると分かりやすかったです。



【相田さんが書いた文章】

運動で健康な体をつくろう！
どんな運動をするといいの？
運動をする際、自分に合った運動を選んで行うことが大切です。

主な運動の種類には、下のよう
に軽いジョギングなどの持久力を高める運動や、腹筋運動などの筋力を高める運動があります。そのほかにも、体の柔らかさを高める運動やたくみな動きを高める運動などがあります。

運動の種類に関係する大事な言葉を四角で囲んで、線で結んだよ。そうしたら、「運動の種類」が四つあることが分かったよ。



授業づくりのポイント

・自分の目的に合った情報の整理の仕方を選ぶことができるようにする。

・情報を整理することで、考えを明確にしたり、思考をまとめたりすることができることを理解し、そのよさを実感できるように、指導する。

- 過去5年間の全国学力・学習状況調査の調査問題の分析を踏まえ、「授業改善」について、【充実させたい学習活動】として提示すると…

過去5年間の全国学力・学習状況調査の調査結果から分析すると

【課題1】

- ◆文章や情報を正確に読むことに課題がある。
- ◆提示された文章・情報や問いの文の読み違い、読み飛ばし、思い込みがある。

文章読解の基礎・基本を身に付ける学習活動を位置付ける。

- ◇音読や視写を取り入れる。
- ◇語、語句、文、段落などの関係性を押さえながら、一つの文章・情報の構造と内容を正確に把握させる。
- ◇「引用して書く」「工夫して書く」とはということなのか、具体的にモデルを示して、練習する場を設定する。

【課題2】

- ◆目的意識・条件意識等を持ち、複数の文章や情報を比較・関連付けて、自分の考えを書くことに課題がある。

◇複数の情報を比較・関連付けて、自分の考えを書く学習活動を位置付ける。

充実させたい学習活動

充実させたい学習活動 1
音読や視写を取り入れる。

充実させたい学習活動 2
語、語句、文、段落などの関係性を押さえながら、一つの文章・情報の構造と内容を正確に把握させる。

充実させたい学習活動 3
「引用して書く」「工夫して書く」とはということなのか、具体的にモデルを示して、練習する場を設定する。

充実させたい学習活動

充実させたい学習活動 1

音読や視写を取り入れる。

具体的には  こんな場を重ねよう。

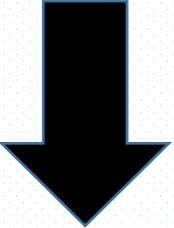
A 音読や視写を学習や日常生活に意図的に取り入れる。

B 音読や視写をする場面で、出会わせたい語句等に意図的に着目させる。

充実させたい学習活動

充実させたい学習活動 2

語、語句、文、段落などの関係性を押さえながら、一つの文章・情報の構造と内容を正確に把握させる。

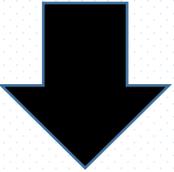
具体的には  こんな場を重ねよう。

- C 文章全体の構成を捉える。
- D 分からない語句や表現の意味の使い方を、辞書やタブレット端末を用いて調べる。
- E 理解したことを言語化する。

充実させたい学習活動

充実させたい学習活動 3

「引用して書く」「工夫して書く」とはということなのか、具体的にモデルを示して、練習する場を設定する。

具体的には  こんな場を重ねよう。

F 「引用して書く」「工夫して書く」場面を設定する。

G 表現の効果を考える。

H 理解したことを言語化する。

わたしは、五年生の時、図書委員長の南さんが卒業する前に話してくれた、みんなに本を大切にすることを知ってほしいという思いをもち、大切に読むことができていく学級の様子をろくがして、各学級にしようかいいしたいという活動がすばらしいと思いました。

この話を聞き、五年生の時に、しゅ育委員会で行った活動をふり返りました。そして、当番の日にえさやりやそうじをするだけで、南さんのように、みんなのために新たな活動をてい案できなかつたことをはんせいしました。

わたしは今年、ほ健委員になりました。毎日の生活の中で、健康に目を向け、みんなが健康な生活を送ることができるよう、手あらいの大切さやかんたんでみんなのできる運動などを各学級にしようかいいしたいです。



わたしがこの一年間でがんばりたことは、ほ健委員としてみんなのことを考えた新たな活動を進めることです。

そう考えたのは、五年生の時、図書委員長の南さんが卒業する前に話してくれた、活動への思いがすばらしいと思ったからです。

みんなに本を大切にすることを知ってほしいという思いをもち、大切に読むことができていく学級の様子をろくがして、各学級にしようかいいしたいです。

この話を聞き、五年生の時に、しゅ育委員会で行った活動をふり返りました。そして、当番の日にえさやりやそうじをするだけで、南さんのように、みんなのために新たな活動をてい案できなかつたことをはんせいしました。

わたしは今年、ほ健委員になりました。毎日の生活の中で、健康に目を向け、みんなが健康的な生活を送ることができるよう、手あらいの大切さやかんたんでみんなのできる運動などを各学級にしようかいいしたいです。

授業づくりのポイント

・ 文や文章を比較することで、「どのようなことが工夫」か具体的にモデルを示す。

・ 「工夫して書く」「引用して書く」のよさを実感できるように指導する。

過去5年間の全国学力・学習状況調査の調査結果から分析すると

【課題1】

- ◆文章や情報を正確に読むことに課題がある。
- ◆提示された文章・情報や問いの文の読み違い、読み飛ばし、思い込みがある。

文章読解の基礎・基本を身に付ける学習活動を位置付ける。

- ◇音読や視写を取り入れる。
- ◇語、語句、文、段落などの関係性を押さえながら、一つの文章・情報の構造と内容を正確に把握させる。
- ◇「引用して書く」「工夫して書く」とはどういうことなのか、具体的にモデルを示して、練習する場を設定する。

【課題2】

- ◆目的意識・条件意識等を持ち、複数の文章や情報を比較・関連付けて、自分の考えを書くことに課題がある。

◇複数の情報を比較・関連付けて、自分の考えを書く学習活動を位置付ける。

「話すこと・聞くこと」においては

【話し合い】

Aさん (話題)について、私は・・・。

Bさん 私は、Aさんと違って・・・。

Cさん 確かにBさんのいうとおり・・・。

教師 AさんとBさんの話には共通点もありますね。

Dさん 二人の意見は〇〇〇で似ていますが、△△△では、違ってきます。私は□□□です。

【子供】先の方の意見を踏まえて、つなげて(関連付けて)いく。

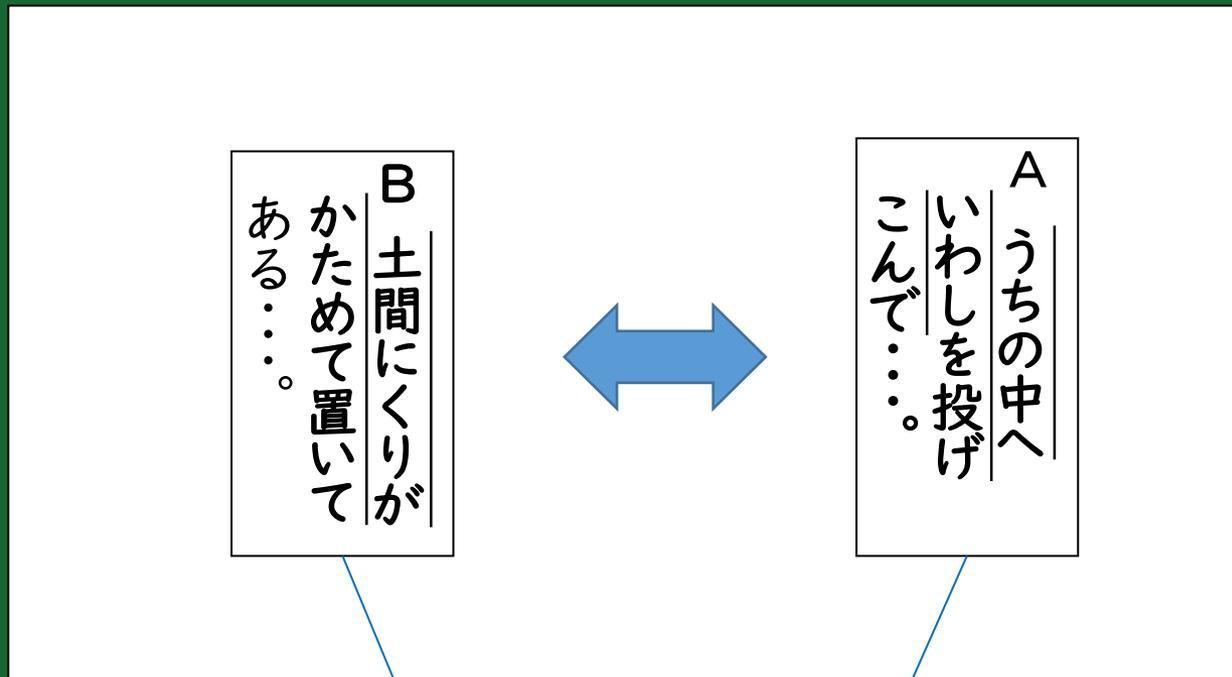
【教師】子供の意見と意見を意図的につなげる(関連付ける)。

【子供】教師の発言を受けて、自分なりに考えている。

※あらゆる授業や日常生活の中で行う。

※タブレット端末で話し合いを録画し、自他の話し合いの様子を観察する。

「読むこと」においては

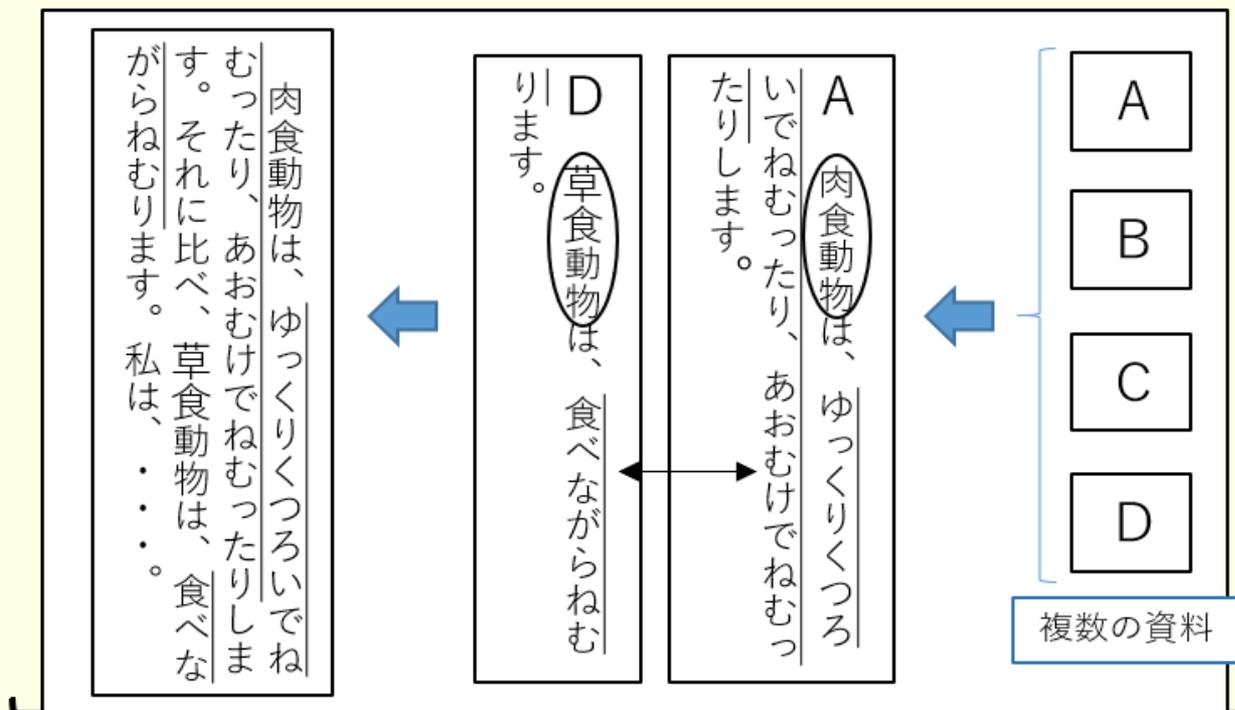


AとBを比べて(比較して)、
結び付けて(関連付けて)読
み取り、自分の意見を書く。

※一つの文章であっても、複数の情報を比較する学習を行うことができる。

「書くこと」においては

【報告文】



③情報を比較・関連付けて、自分の考えを書く。

②重要と考える言葉や文に印を付ける。

①目的や意図に応じて、資料を収集・選択する。

※書く機会や、書いたものを読み合う機会を増やす。

POINT 1

系統性を意識した組織的な学習指導

カリキュラム・マネジメントの推進

- 全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった課題については、調査の対象学年だけではなく、学校全体で共有し、系統性を意識した組織的な学習指導の改善・充実につなげることが大切です。
- 特に、定着に課題がある指導事項（資質・能力）を明確にし、年間指導計画等に反映させるなどして、螺旋的・反復的に繰り返しながら学習し、定着を図ることが大切です。



POINT2

児童のつまずきに応じた学習指導

指導と評価の一体化を図る

- 「解答類型」は、児童一人一人の具体的な解答状況を把握することができるよう、設定する条件等に即して解答を分類・整理しています。
「解答類型」に表れた児童一人一人のつまずきを捉え、学習状況の改善を図ることが大切です。
- 「授業アイデア例」に示したように、児童一人一人のつまずきに応じて指導することが大切です。



学習指導の改善・充実を図るポイント

複数の情報を整理して自分の考えをまとめることに課題がある

児童のつまずきがどこにあるかを見極める

つまずき(例)

学習指導(例)

①必要な情報を取り出すこと

②取り出した複数の情報を
関連付けて理解すること

③自分の考えをまとめること
(記述すること)

つまずき(例)

①必要な情報を取り出すこと

②取り出した複数の情報を
関連付けて理解すること

③自分の考えをまとめること
(記述すること)

学習指導(例)

○内容を把握する

[思考力、判断力、表現力等]の「構造と内容の把握」や、[知識及び技能]の「音読」に関する指導事項と関連させ、内容を大づかみに捉えることができるようにしたり、教師と一緒に読んで児童の理解を助けたりして指導する。

○目的を意識する

目的を意識して、必要な情報かどうかを判断できるように指導する。

○情報を選ぶ(ICT機器の活用)

必要な情報だと判断した語や文などにマーカーを引き、視覚的に捉えることができるように指導する。必要だと判断した理由を交流し、マーカーを引いた語や文について再検討できるように指導する。

つまずき(例)

①必要な情報を取り出すこと

②取り出した複数の情報を
関連付けて理解すること

③自分の考えをまとめること
(記述すること)

学習指導(例)

○情報を関連付けるよさを実感する

複数の情報を比較したり関連付けたりして考えた方が、内容をよく理解したり、考えを広げたりすることにつながることを実感できるように指導する。

○情報を整理する(ICT機器の活用)

[思考力、判断力、表現力等]の「精査・解釈」や、[知識及び技能]の「情報の扱い方に関する事項」と関連させて、複数の情報を関連付けて考えることができるように指導する。

○考えとその理由を交流する

もとになる情報を示しながら、考えとその理由を交流することで、それぞれの考えが既存の知識や体験などと結び付いていたり、他の情報と関係付けられていたりすることに気付くことができるように指導する。

つまずき(例)

①必要な情報を取り出すこと

②取り出した複数の情報を
関連付けて理解すること

③自分の考えをまとめること
(記述すること)

学習指導(例)

○まとめるために必要な語句を使う

[知識及び技能]の「情報と情報との関係」(考えとそれを支える理由や事例)や、「語彙」(思考に関わる語句)に関する指導事項と関連させ、理解したことと考えたことの関係が分かるようにまとめることを指導する。

○モデルとなる文章を分析する

児童の必要に応じて、モデルとなる文章を提示し、記述の留意点などを捉えることができるように指導する。

○まとめた文章を読み合う

まとめた文章を交流し、書き直したり考えを広げたりすることができるように指導する。その際、交流する目的や観点などを明確にするとよい。

例・考えと理由の関係が明確になっているかを確かめるため
・互いの考えを広げるため など

POINT3 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善

「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善

- 「質問紙（児童生徒質問紙、学校質問紙）調査」の結果を分析し、学習指導の改善・充実に役立てることが大切です。
- 単元などのまとまりを見通して、例えば、
 - ・主体的に学習に取り組めるよう
学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりして自身の学びや変容を自覚できる場面をどこに設定するか
 - ・対話によって
自分の考えなどを広げたり深めたりする場面をどこに設定するか
 - ・学びの深まりをつくりだすために、
児童が考える場面と教師が教える場面をどのように組み立てるか
といった観点で授業改善を進めることが大切です。



学習指導の改善・充実に向けて 「全国学力・学習状況調査」をご活用ください

国立教育政策研究所では、全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえて、
学習指導の改善・充実を図る際の参考となる資料を作成しています。



調査問題

調査問題と同様の
言語活動を設定して
指導する際、教材と
して活用することも
できます。



解説資料

調査実施後
すぐに活用
できる情報を
掲載しています。



報告書

各問題について、
解答類型と反応率、
分析結果と課題、
学習指導のポイントを
掲載しています。



説明会資料

「全国学力・学習状況調査の
調査結果を踏まえた学習指導の
改善・充実に向けた説明会」の
説明資料や説明動画を公開
しています。



令和4年度全国説明会
【小学校国語】説明動画

<https://youtu.be/HgeANuaK7B0>

児童一人一人の学力・学習状況を捉え、
児童一人一人の学力・学習状況に応じた
学習指導の改善・充実を図りましょう。



これらの資料は、国立教育政策研究所のウェブサイトから
ダウンロード・視聴することができます。

<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

